

スペシャルオリンピックスは、知的発達障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SO では、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障がいのある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。ここ富山でもSOが活動しています。現在延べ約110名のアスリート会員が5つの競技種目に取り組んでいます。



■今季のエッセイ

★ ワールドカップとSO

2006年6月、世界中がサッカー・ワールドカップで盛り上がっています。SON 富山の活動をサッカーに例えますと、アスリートは選手、ボランティアは監督やコーチあるいはピッチ等を整備するスタッフ、ファミリーはサポーター（応援団）というところでしょうか。サッカーの試合を盛り上げるためには選手だけが頑張っても、コーチやスタッフだけが頑張ってもいけません。ピッチに立つ人、ピッチを囲む人、それぞれに関わる皆が三位一体となり、力を合わせる事が大切です。

私は、縁ありましてSON 富山の副会長を務めさせていただくことになりました。これまで、陸上競技、水泳、フロアホッケーの記録会や開閉会式でアスリートたちの頑張っている姿を見てきました。彼らは、

副会長 兵田 由美子

知的障がいという病気を持っているのではなく、知的障がいという個性を持っているのです。彼らはいろいろなことが、「できない」ではありません。環境や準備が整いさえすれば時間がかかっても「できる」のです。彼らはずっと、「できた」という喜びを彼らなりに表現しています。SON 富山では、始めから「障がい者にはできない」と決め付けるのではなく、スポーツを通じて、彼らのいろいろな可能性を求め取り組んでいる団体です。まだまだSONの活動は広く浸透はしていませんが、一步一步前に進めていきたいと思っています。

そう、「前へ」。今後ともSON 富山の活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ “勇気の翼” フロアホッケー大会

スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野メモリアルイベントの“勇気の翼”フロアホッケー大会が2006年4月22・23日、長野市で開催され、わがSON富山のブルーサンダースは記念すべき初勝利を修めました。アスリートたちの歓喜の笑顔、そして声を嗶らせて応援したサポーターたちの満足そうな笑顔が忘れられません。



■ ハートフルコンサート

今回で3回目となるSON富山のチャリティーコンサートは、2006年5月14日（日）、ウイング・ウイング高岡4階大ホールで開催されました。もうすっかりコンサートの常連アーティストになった高養ティーチャーズ、K-スクエア、ホテルイカの3バンドの演奏に150人の観客はノリノリでした。会場内ではボランティアが販売や機の配置などを引き受けてくれましたし、受付もボランティアで対応してもらいました。これからも、ボランティアの皆様のご協力をよろしくお願いします。



★ ハートフルコンサートはいかがでしたか…？

一昨年のトーチランのプレ・イベント、そして昨年、今年とこれで3回目のウイング・ウイング高岡でのコンサート。スタッフも会を重ねる毎に手馴れてきた感じがします。が、それ以上に来場者がだんだん増えてきたこと、ボランティアの層が多彩になってきたことなどがとってもうれしく思います。

今年は、受付には高校生ボランティア、ドリンクコーナーには大学生ボランティアが加わり、私たち奥様ボランティア3名は若い彼らを自在に操り(!)コンサートの雰囲気をも十分に楽しむことができました。

開場直後のドリンクコーナーでは、「お飲み物はどれにされますか？ジュース、コーラ、ウーロン茶がありますが？」と丁寧に聞く学生さんに、うまく意思を伝えられないアスリートがいて、ぎくしゃくすることも…しかし！ここで、ベテラン奥様ボランティアが本領発揮。

ボランティアスタッフ 松尾 世志子

「これと、これと、これがあるよ、どれがいい？」とアスリートの目の前に直接ボトルを示して、ゆっくりと振ってみせます。その奥様ボラの勢いに圧倒されたのか声がでないアスリート。

でも、奥様ボラは見逃さなかった！ ジュースのボトルを追っているアスリートの視線を…

「こっちね！こっちでいい？」コクコクとうなづくアスリートの様子に学生ボラはホッとしつつジュースをサービスするのです。

最初は要領をつかめず、ちよっぴり硬くなっていた学生さんたちも、だんだんとリラックスしてきて、お客さんとの対応もハートフル&フレンドリーに…そして、いよいよコンサートの開始♪ 会場全体がスイングする中、私たちボランティアも手拍子を打ったり踊ったり…いろんな方と触れ合って、一番楽しい思いをしたのは、実は私たちだったのかも！ 次のイベントがとっても待ち遠しい私たちです。

■ファミリーとしての想い

私とスペシャルオリンピックス(SO)との初めての出会いは、映画Ableでした。我娘とよく似たタイプの17才位の男の子が、もう一人の男の子と共に親元を離れ、二人でアメリカに数ヶ月間に渡りホームステイをしたという、SO活動紹介のためのドキュメンタリー映画です。言葉でコミュニケーションをとることを苦手とする彼が、ステイ先のファミリーと生活をし、SOのバスケットにも参加していました。その穏やかな彼の表情に、不思議な力を感じ、静かな感動を覚えました。

その4ヵ月後、細川氏の講演を聴き、SOの世界大会で初めて銀メダルを取った10才の日本の少女の話、頭の中で勝手に自分の娘に置き換えて、うるうるしそうになりました。そんなに簡単に現実になるわけないか、と思いつつも。

それから2年半が過ぎ、昨年(2005年)9月に石川県で西日本ブロック大会があり、娘は水泳に出場。娘には細かい説明をせずに送り出し、予選・決勝と何回も泳ぐので、いろいろモードになるのではと心配していました。が、個人競技が終わり、たまたまピンチヒッターで出たりレーで、前泳者2人の頑張

水泳プログラム(富山)マネージャー 田口 靖子

りと、アンカーの追い抜きでなんと金メダルを獲得! 声が枯れんばかりに応援し、アンカーがタッチした瞬間、感激で涙ぼろぼろになるかと思ったのに、実際には鳥肌が立って体中の力が抜けそうになりました。そして、娘が競技終了後、出場者全員と笑顔でバンザイをしている姿を見て、私の最初の心配は吹き飛びました。どのアスリートも最高の表情でした。

私のであの日の勝手な妄想がこんなに早く現実になったのも、SON富山が地区組織として認証され大きく羽ばたこうとしているのも、本当にたくさんの方々のお陰だと思っています。ボランティアの方々をはじめ、中心になって活動してくださっている皆さんに本当に感謝しています。それにとっても良い出会いもたくさんありました。

たった一人では叶わぬ夢も、同じ眼差しでアスリートを見つめる人たちが集まり、力を合わせれば実現できる、それがSOではないでしょうか。今は、「SON富山って、なんかいいよね!」と言われるような日が来るといいな、とまた勝手な妄想を密かに抱いている今日この頃です。

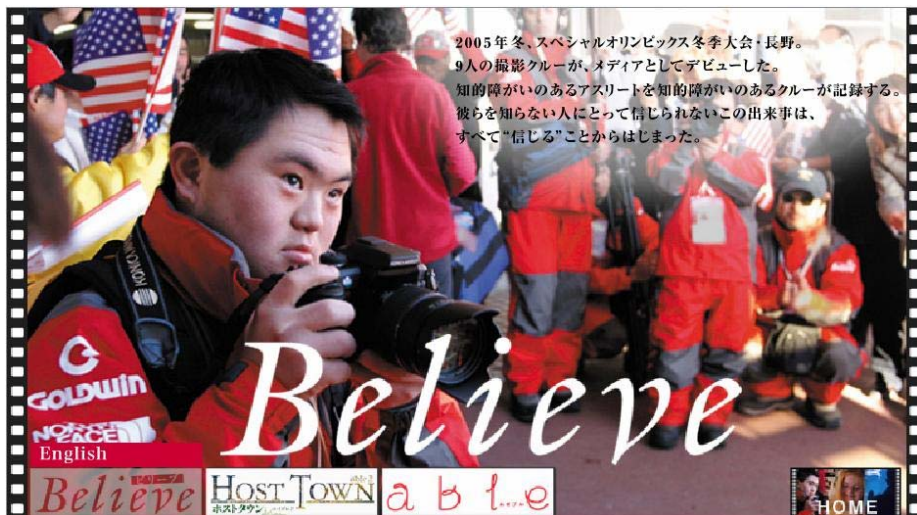
■映画「ビリーブ: Believe」上映会

広報委員長 上原 恵

映画を通じてスペシャルオリンピックス・日本を支援するableの会が制作した映画が富山市で自主上映されます。自主上映の主催は富山パイロットクラブで、SON富山は後援です。みなさんは是非ご鑑賞ください。

知的発達障がいのある人々を撮影したドキュメンタリーはこれまでも数々ありました。しかし、彼ら自

身がカメラを扱い、マイクを片手にインタビューをし、記録するとしたら信じられますか? これは、知的発達障がいのある9人のBelieve撮影クルーが、知的発達障がいのある人たちのスポーツの祭典「2005年2月のスペシャルオリンピックス冬季世界大会」をドキュメントした様子を記録したものです。



映日・時間 2006年9月3日(日) 13:00~ 1回上映

会場 富山国際会議場

住所: 〒930-0084 富山県富山市大手町1番2号

JR富山駅より徒歩約15分/バス5分、城址公園前下車 徒歩3分 Tel: 076-424-5931

チケット: 大人1000円、子供(小中高)500円

問い合わせ: なるべくメールかファックスをお願いします。必ず返信先ファックス番号明記のうえ、上原まで

メール: Kei-kami@p1.coralnet.or.jp、ファックス: 076-468-1396 (夜間: 090-6272-1336)

■夏季プログラムが始まりました

富山でのSOの活動も、徐々に軌道に乗ってきたのか？ 少しずつ知名度も上がってきたのか？ 今年度は夏季ナショナルゲームの年というせいもあってか？、昨年度より参加アスリート数は大幅に増えてきました。一方、これを支えるスタッフはというと、アスリートほどの伸び幅は無いものの、ファミリーのサポートを受けながら、少しずつではありますが広がりをみえています。

昨年の長野での世界大会を期に全国的にもSO人口は大幅に増え、今年のナショナルゲームでは参加希望者が殺到し、受入制限を余儀なくされています。

スポーツプログラム委員長 澤田 守弘

これに伴って、ナショナルゲームに参加できないアスリートのためにという意味もあって、各地区での地区競技会の充実が今後の課題となってきています。

富山でも、今期はこの「地区競技会」の実施を前提に、各プログラムは準備を進めてきました。日頃のトレーニングの成果を発表するため、アスリートに思いっきり輝ける場を提供するため、SOの活動の中に競技会はかくことができません。

今後より一層皆様のご協力・ご支援をお願いします。

■これからの予定

イベント名	開催日	場所
アスリートメッセンジャー会議	7月15・16日	熊本市
ゼネラルオリエンテーション	8月20日(日)	富山県総合体育センター
SON 富山地区陸上競技会	10月1日(日)	高岡市城光寺陸上競技場
ビリーブ上映会	9月3日(日)	富山市国際会議場
SO デーイベント・トーチラン	10月22日(日)	県民公園太閤山ランド
夏季SO ナショナルゲーム熊本	11月3・4・5日	熊本市

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2006/2/19~2006/6/20)>

敬称略

	お名前	金額	お名前	金額	お名前	金額
個人賛助	青木 隆済	3,000円	川端 貴美子	10,000円	野手 光子	3,000円
	青木 正嗣	3,000円	河内 雅人	3,000円	林 慎二	3,000円
	池田 愛美	3,000円	崎 洋一	3,000円	本間 恵介	15,000円
	石坂 兼人	3,000円	清水 和夫	3,000円	前田 恵佑	3,000円
	宇於崎 俊陽	3,000円	末永 伸一	3,000円	前田 浩和	3,000円
	大津賀 貴文	3,000円	杉田 康子	6,000円	牧野 歌子	3,000円
	大野 政代	3,000円	杉森 建彦	3,000円	水野 波津見	3,000円
	大野 裕司	3,000円	杉森 弘子	3,000円	三津島 淳	3,000円
	小川 航	3,000円	高瀬 愛子	3,000円	南 昌樹	3,000円
	小川 隆	3,000円	高瀬 祐子	3,000円	村下 勇	3,000円
	尾山 規子	3,000円	田口 昌宏	6,000円	村下 定雄	3,000円
	海内 孝明	3,000円	塚本 勝宏	3,000円	村下 陽一郎	3,000円
	金山 彰	10,000円	辻 龍之介	3,000円	村下 禮子	3,000円
	神島健二	3,000円	戸田 明里	3,000円	森 真澄	3,000円
	神島辰枝	3,000円	戸田 一郎	3,000円	森田 英男	10,000円
	神島雅諭	3,000円	戸田 薫	3,000円	八木 恵子	3,000円
	上原 公子	3,000円	戸田 武宏	3,000円	八木 信成	3,000円
	上原 恵	3,000円	鳥内 禎久	3,000円	六町 道子	3,000円
	上原 悠太	3,000円	夏野 公秀	3,000円	渡辺 佳世子	3,000円
	川西 智恵子	3,000円	西田 優真	3,000円	渡辺 守人	3,000円
企業・団体賛助	中村会計事務所	50,000円	ありがとうございました。			

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5207770

※ お問い合わせは、SO 富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。